

IV 患者評価とアセスメント

IV-6. 意識・精神状態

大項目	中項目	カルテ・データ	フィジカル・スキル	レベル
□IV-6.1 意識状態の評価	□IV-6.1.1 意識状態について確認できる	□ 意識状態について確認できる	□ 患者の意識状態の把握できる	○
	□IV-6.1.2 表情・開眼反応について確認できる	□ 表情・開眼反応について確認できる	□ 患者の表情・開眼反応について確認できる	○
	□IV-6.1.3 言語反応（従命）について確認できる	□ 言語反応（従命）について確認できる	□ 患者の言語反応（従命）について確認できる	○
	□IV-6.1.4 見当識について確認できる	□ 見当識について確認できる	□ 患者の見当識について確認できる	○
□IV-6.2 意識状態の問題点と離床	□IV-6.2.1 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	○
	□IV-6.2.2 意識障害を有する患者における離床のリスクを予測できる	□ 意識障害を有する患者における離床のリスクを予測できる	□ 意識障害を有する患者における離床のリスクを予測できる	◇
	□IV-6.2.3 意識障害のレベルからADLを予測できる	□ カルテに記載された意識障害のレベルからADLを予測できる	□ 意識障害のレベルからADLを予測できる	◇
	□IV-6.2.4 意識障害を有する患者の離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 意識障害を有する患者における離床時における工夫を説明できる	□ 意識障害を有する患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	◇
□IV-6.3 鎮静の評価	□IV-6.3.1 鎮静状態について確認できる	□ 鎮静状態について確認できる	□ 患者の鎮静状態の把握ができる	○
	□IV-6.3.2 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	○
	□IV-6.3.3 鎮静状態ある患者における離床のリスクを予測できる	□ 鎮静状態ある患者における離床のリスクを予測できる	□ 鎮静状態ある患者における離床のリスクを予測できる	○
	□IV-6.3.4 鎮静のレベルからADLレベルを予測できる	□ 鎮静のレベルからADLを予測できる	□ 鎮静のレベルからADLを予測できる	◇
	□IV-6.3.5 鎮静状態ある患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 鎮静患者における離床時における工夫を説明できる	□ 鎮静を有する患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	◇
□IV-6.4 せん妄の評価	□IV-6.4.1 せん妄について確認できる	□ せん妄の状態について確認できる	□ 患者のせん妄の状態の把握ができる	○
	□IV-6.4.2 問題点を抽出することができる	□ 問題点を抽出することができる	□ 患者評価より問題点を抽出することができる	◇
	□IV-6.4.3 せん妄を有する患者における離床のリスクを予測できる	□ せん妄を有する患者における離床のリスクを予測できる	□ せん妄を有する患者における離床のリスクを予測できる	◇
	□IV-6.4.4 せん妄のレベルからADLを予測できる	□ せん妄のレベルを確認しADLを予測できる	□ 患者のせん妄レベルからADLを予測できる	○
	□IV-6.4.5 せん妄を有する患者の離床時の工夫と対処法を説明できる	□ せん妄を有する患者の離床時における工夫を説明できる	□ せん妄を有する患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	◇
□IV-6.5 認知症の評価	□IV-6.5.1 認知症について確認できる	□ 認知状態について確認できる	□ 患者の認知状態の把握ができる	○

IV-6
意識・精神状態

大項目	中項目	カルテ・データ	フィジカル・スキル	レベル
	□IV-6.5.2 問題点を抽出できる	□ 問題点を抽出できる	□ 情報より問題点を抽出できる	◇
	□IV-6.5.3 認知の異常を有する患者における離床のリスクを予測できる	□ 認知の異常を有する患者における離床のリスクを予測できる	□ 認知の異常を有する患者における離床のリスクを予測できる	☆
	□IV-6.5.4 認知症のレベルからADLを予測できる	□ 認知症のレベルからADLを予測できる	□ 認知症のレベルからADLを予測できる	☆
	□IV-6.5.5 認知の異常を有する患者の離床時の工夫と対処法を説明できる	□ 認知の異常を有する患者の離床時における工夫を説明できる	□ 認知の異常を有する患者における離床時の工夫と対処法を説明できる	☆

情報の統合

抽出された問題点
(P189にあるV章問題点抽出シートへも転記する)